

一般研究発表（ポスター発表形式） 発表申込要領

【概要】

発表形式：ポスター発表

募集内容：機関誌「マインドフルネス研究」と同様に、直接的、もしくは間接的に、広くマインドフルネスに関係する内容を、**学問分野と研究手法を問わず**、募集します。今回の大会テーマと関連した発表も歓迎します。

応募資格・要件：応募にあたって、次のことをご確認ください。

- ✓ 筆頭著者は、本学会の**正会員**あるいは**準会員**とします※1。
- ✓ **非会員**は研究発表の共著者となることが可能です※2。
- ✓ 筆頭著者が責任をもって応募手続きを行ってください。
- ✓ 抄録は**著者全員が最終確認**し、研究内容に責任をもつものとします。
- ✓ 大会当日の責任発表者は筆頭著者（あるいは筆頭著者の承諾を得た共著者）が務めてください。

※1：準会員の方は、正会員が共著者として入る場合に限り、筆頭著者としてご応募いただけます。
※2：非会員で7月25日（木）までに本学会に入会申込をされ、入会を認められた方は、筆頭著者としてご応募いただけます。まずは「発表仮申込」をお済ませください。8月2日（金）までにお届けする理事会審議結果を受け、8月6日（火）までに入会金・年会費のお振込を済ませ、「本申込」にお進みください。

審査・責任

- ◇ 事前に提出された「抄録原稿」を本学会の審査委員が**査読**し、発表の可否を決定します。
- ◇ 査読は、**研究倫理**の最低限のルールが守られているか、**商業目的**や**勧誘目的**など政治的な問題を含まないかといった観点からなされます。
- ◇ 研究デザインや分析手法の妥当性、先行研究やデータ解釈の適切性に関わる内容や、そのほか科学論文としての形式上の問題については、**著者が全面的に責任を負うもの**とします。
- ◇ 研究発表（業績）として認められるには、**大会当日にポスター発表**を行う必要があります。
- ◇ 8月16日（金）を目処に、できるだけ迅速に発表の可否に関する審査結果をお伝えします。
- ◇ 今年の大会でも、本学会の審査委員が投票する「最優秀研究賞」「優秀研究賞」「実践奨励賞」、一般投票による「最優秀ポスター発表賞」「優秀ポスター発表賞」の選出を予定しています。
※賞の正式名称、選出数、告知の時期と方法については未定です。

【応募方法】

- ✓ 今回は、「**仮申込**」と「**本申込**」という**2段階の申込方式**をとります。
- ✓ 本申込の際に、仮申込時と題目（研究内容）が異なることは妨げませんが、資格確認の都合上、筆頭著者と共著者の著者順も含めて同一としてください。
- ✓ 発表資格の確認および希望者数の把握のため、発表をお考えの場合は、早めに**仮申込**をお願いいたします。

第1ステップ：発表仮申込（8/5まで）

- ◇ 筆頭著者は「発表仮申込」として、大会事務局（2019jam6@gmail.com）まで、下記のメールにて発表のご意向をお伝えください。

- **件名：**JAM6 ポスター発表（仮申込）
- **本文：**下記の内容を明記してください。
 - ◇ **発表（仮）題目：**
 - ◇ **筆頭著者：**氏名（ふりがな）、所属、正/準会員の区別（会員番号）
 - ◇ **共著者：**氏名（ふりがな）、所属、正/準/非会員の区別（会員は会員番号）
 - ※ 筆頭著者が非会員で、7月25日までに入会申請された場合は、「入会申請中」をご記入ください。

- ◇ 「発表仮申込」の受け取り後、大会事務局で簡単なチェックを行い、追って**抄録テンプレート**と**抄録チェックリスト**（どちらもWordファイル）をメールでお送りします。
 - ※ 2019jam6@gmail.com からメールが受信できるよう、迷惑メールフィルタの設定をお願いします。
- ◇ 「発表仮申込」がない場合、抄録提出、審査のプロセスに進めませんので、ご注意ください。

第2ステップ：発表本申込（8/8木 正午まで）

- ◇ 抄録原稿を作成の上、筆頭著者は再度、大会事務局（2019jam6@gmail.com）まで、下記のメールにてご応募ください。

- **件名：**JAM6 ポスター発表（本申込）
- **本文：**下記の内容を明記してください。
 - ◇ **発表題目：**
 - ◇ **筆頭著者：**氏名（ふりがな）、所属、正/準会員の区別（会員番号）
 - ◇ **共著者：**氏名（ふりがな）、所属、正/準/非会員の区別（会員は会員番号）
- **添付：**抄録原稿のWordファイル、PDF変換したファイル、抄録チェックリスト
 - ※ 原稿とチェックリストは筆頭著者の姓(アルファベット)とファイルの中身がわかるようにしてください。
 - 原稿のファイル名の例：MutaJAM6paper（すべて半角スペースなし）
 - チェックリストのファイル名の例：MutaJAM6checked（すべて半角スペースなし）
 - ※ ファイルサイズが大きい場合は、Firefox send (<https://send.firefox.com>) など安全・確実な共有システムを利用して原稿ファイルをお届けいただいて構いません。ご不明な場合は、ご一報ください。

【抄録原稿の作成方法】

テンプレート

- ◇ 抄録原稿の作成に当たっては、「発表仮申込」の完了後に配布される、第6回大会版の「抄録テンプレート」(Word ファイル) をご使用ください。昨年以前のものとは異なる点もありますので、必ず最新版をお使いください。
- ◇ 抄録テンプレートの原稿レイアウトにしたがって、余白・文字ポイント・基本フォント種別・全体の行数などは変更しないでください。
- ◇ 抄録原稿は、テンプレートの通りA4サイズとし、ページ数は1ページのみとします。

形式と内容

- ◇ 原稿作成を支援し、研究に際しての倫理的配慮が適切にできるよう、「抄録チェックリスト」をご用意しました。執筆時に参考されるとともに、提出前にご自身でチェックされ、応募時にご提出をお願いします。
- ◇ 文献の引用の仕方、図表の作り方などについては、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き 2015年改訂版」(<https://psych.or.jp/manual/>) に準じてください。

ファイル形式

- ◇ 完成した抄録原稿 (Word ファイル) から PDF ファイルを作成してください。
- ◇ 関係者に公開する「プログラム・抄録集」には、提出された PDF ファイルをそのまま使用します。Word 原稿執筆時にミスタイプ等に十分ご注意くださいとともに、PDF 作成時にすべてのフォントをファイルに埋め込み、ズレがないことをご確認ください。

※Windows 版の Microsoft Word から PDF にする際、デフォルトではフォントが埋め込まれません。以下の手順で変換してください。

1. ファイル→名前を付けて保存→「ファイルの種類」を PDF にする。このとき、「最適化」の欄が「標準」になっていることを確認する。→オプションをクリック。
2. バージョンにより表記が異なるので、お使いのものに合わせて進めてください。
 - ・Word 2010 の場合→PDF のオプションで、「ISO 19005-1 に準拠 (PDF/A) (1)」にチェック
 - ・Word 2013 の場合→PDF のオプションで、「ISO 19005-1 に準拠 (PDF/A) (1)」にチェック
 - ・Word 2016 の場合→PDF のオプションで、「PDF/A 準拠(/)」にチェック
3. 「OK」をクリックし、「保存」をクリックしてください。
4. 埋め込みになっているか確認するためには、Adobe Acrobat Reader DC (無償) で PDF を開き、ファイル→プロパティ→フォントと進みます。表示されたすべてのフォントについて「(埋め込みサブセット)」と表示されているか確認してください。

【ポスター発表の形式】

- ✓ ボードサイズは、タテ178cm×ヨコ118cmです。
- ✓ ポスター用パネルの左上に発表番号を事務局で事前に貼っておきます。該当の番号のパネルに発表用ポスターを貼り付けるようにお願いします（発表番号は、後日公開する「プログラム・抄録集」にてご確認ください）。
- ✓ ポスター発表に割り当てられている時間のうち、**任意の30分を在籍責任時間**とします。責任時間を越えて発表される分には構いません。
- ✓ ポスターの上部には、大きく**主題・副題・すべての著者名と所属**を明記してください。その下の付近に、**枠で囲むなどして、「ハイライト」**（抄録と同じ文面かそれに近いもの）を遠目にも見やすく示してください。その他のレイアウトは自由です。
- ✓ ポスターの貼り付けのためのピンは、大会事務局で用意します。
- ✓ 当日配布の資料は、各自事前にご準備ください。
- ✓ 開場後は、参加受付が終わり次第、ポスターを貼っていただけます。遅くとも、**8月24日の15:00までに受付を済ませ、ポスターを貼ってください**。ポスター発表終了後も、参加者の方にご覧いただけるよう、できるだけ、**8月25日の大会終了時まで貼ったままで**お願いいたします。ポスターを貼ったまま、お帰りいただいても結構ですが、その場合、ポスターは大会終了後に、大会事務局で処分いたします）。

お問い合わせ先

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35
関西大学文学部 菅村玄二研究室内
日本マインドフルネス学会第6回大会事務局
大会準備・運営委員会：エンボディース
Email: 2019jam6@gmail.com

抄録チェックリスト(各項目、いずれか当てはまる枠内に○をつけてください)		はい	該当せず	
倫理的配慮	研究に際し、研究協力者(実験参加者・クライアントなど)に研究内容を説明し、同意を得ている。			
	その同意は、強制のない状況で行われている(例、調査への回答は自由である旨の説明がされている)。			
	協力者本人に能力がないことが懸念された場合、後見人の同意を得ている。			
	研究の性質上、研究内容について事前に十分な説明ができない場合には、終了後に説明を行っている。			
	臨床的研究の場合、結果の公表について研究協力者または後見人から文書で同意を得ている。			
	研究で得られた個人情報は厳重に管理されている。			
	海外の質問紙などを翻訳して使用している場合は、原著者の同意を得ている。			
	著作権のある質問紙などは適切な手続きの上で用いられている。			
	文献等を引用する際は、少なくとも本文中には著者名と出版年を明記している(例、山岡他, 2015, ※抄録では文献欄は省略できる)。			
	本研究に関して、利益相反はない。			
全般	箇条書きになっていない。			
	改行すべき場所で改行しており、改行後には適切に一文字下げている。不必要な場所で改行していない。			
	書式は、日本心理学会編「執筆・投稿の手引き2015年改訂版(https://psych.or.jp/publication/inst/)」の通りである。			
	実証研究の場合は、目的、方法、結果、考察などの見出しがある。			
	所定のテンプレートを使用し、フォントや行間などを変更していない。			
タイトル	研究内容が一目でわかるものになっている。			
	書名のように広すぎる題目でない。	<div style="background-color: yellow; padding: 5px;"> ✦ 今年の大会では、ポスター発表の「仮申込」と「本申込」という2段階の申込方式をとります。 ✦ 「仮申込」を行うと、このチェックリストのExcelファイルが入手できます。 </div>		
目的	用語の定義と使用方法は正しい。			
	関連する先行研究を適切に説明している			
	目的までの流れ(研究背景、先行研究の問題点、研究の意義など)を適切に書いている。			
方法	目的(何をどこまで明らかにしようとするのか)を適切に書いている。			
	方法	参加者の人数、必要事項[人数、性別、年齢]を記載している。		
		実験計画(独立変数、従属変数、参加者内-参加者間デザイン)を適切に記載している。		
追試に必要なと思われる重要な情報を記載できている。				
結果	結果の値は正確で、転記ミスなどはない。			
	統計的な有意性の有無だけでなく、必要に応じて平均値などにより得点の高低、相関の正負や値、その程度などが明示されている。例1:セッション後の不安に関しては、瞑想群($M = 2.1, SD = 0.4$)が、統制群($M = 3.8, SD = 1.1$)よりも低かった($p = .046$)。例2:気づきと開放性との間に弱いながらも正の相関が見られた($r = .29, p < .05$)。			
考察	必要な結果が簡潔にまとめられている。			
	得られた結果を元に適切に記載できている。			
図表	図表は質・量ともに適切であり、モノクロでも判別可能な形で作成されている。			
	すべての図表には通し番号と適切な表題がつけられており、本文から参照されている。			
	表のタイトルは上部に記載している。			
	図のタイトルは下部に記載している。			